

手話教室・手話交流会

手話にチャレンジ！



7月22日（土）、庄手話サークルのみなさんにご協力いただき、聴覚障がいに対する理解と認識を深めていただく目的で、手話教室・手話交流会を行いました。毎回、子どもたちが手話に興味を持って楽しんでもらえるように、手話サークルのみなさんが、工夫を凝らした内容を考えてくださいます。

当日は、庄小学校の児童や庄中学校の生徒、保護者のみなさん、教職員の方々、地域の方々など約50名の方々にご参加いただきました。



初めに、数字を手話でどう表すのかを教えてくださいました。そして、その数字を使って、自分の誕生日をはじめ、参加している多くの方の誕生日を表現することを学びました。

誕生日「〇月〇日」の月は、三日月の形を手で描く表し方で示しますが、日の表現はなくても良いそうです。



次に、手話を使って「友だち」という歌を歌いました。最初に、お手本として、手話サークルのみなさんが、手話で歌ってくださいました。それから、歌詞の言葉を手話でどう表すのかを一つひとつ教わっていき、最後に、全員で一緒に手話で「友だち」を歌いました。

手話サークルの方が、「今は、マスクを付けている人が多いけれど、聴覚障がいの方は、ゆっくり話すと口の動きを読み取ってくれるから、口の動きや表情もとても大切です。」と、おっしゃっていました。



最後は、グループに分かれて、言葉を使わずに、身振りや手振りを使って相手に伝える伝言ゲームをしました。今回は、野球やラグビーなどのスポーツのお題でした。お題によっては、分かりやすい身振りや手振りで、あっという間に最後の人まで伝わったグループや、難しい表現のため、何度も聞き直しているグループなど様々でしたが、どのグループも伝言ゲームを楽しんでいました。ゲーム終了後、お題を手話やジェスチャーで、どのように表現をするのかを教えてくださいました。

参加された方からは、「正しいやり方を覚えることも大切だけれど、一番大切なのは相手に伝えたいと思う気持ちだということ学びました。」「手話の事が、少し身近に感じられるようになりました。」「手話歌で、自然に手話を覚えられて楽しかったです。」などの感想をいただきました。



手話は、聴覚障がいのある方の大切なコミュニケーションの手段です。この会が、障がいのある方への理解を深め、あたたかい地域を作ることにつながっていくきっかけになっていければと思います。